

本学卒業生の勤務状況や現在の心境等を把握し、卒業生の支援をするとともに、大学での学びが就職後どのように生かされているか、面談とアンケートを通して検証した。

大学での学び（①専門知識、②技能、③考え方、④人間関係）が生かされているかについて、卒業生と所属長（園長等）を対象に、4つの視点で調査した。その結果、①専門知識については卒業生 84.0%、所属長 86.8%が生かされていると回答し、②技能については、卒業生 84.0%、所属長 77.5%が生かされていると回答した。また、③考え方については、卒業生 72.0%、所属長 69.2%が生かされていると回答し、④人間関係については、卒業生 62.5%、所属長 77.5%が生かされていると回答した。これらの結果から、大学の学びが可視化され、総じて教育効果が認められた。

①専門知識については卒業生・所属長とも高い結果であったが、②技能、③考え方は所属長の方が低値であった。卒業生の内省が過大評価であることも推察されるため、今後の指導のあり方を検討する必要があると考えられた。④人間関係は所属長の方が高値であったが、卒業生の内省は 62.5%と低く、これもアクティブラーニングやグループワークなど、将来現場で必須となるチーム協働のために指導をしていく必要があるのではないかと推察された。

今後は、学科内で情報を共有し、在学生に伝えつつ、指導の改善にも生かしていく。

表：2021 年度卒業生（6 期生）訪問結果概要

(2023.8.16 学科会議報告)

	配布数	回収数	回収率	大学での学びが現在活かされているか			
				専門知識	技能	考え方	人間関係
卒業生	94	64	36.2	84.0	84.0	72.0	62.5
所属長 (園長等)	94	41	43.6	86.8	77.5	69.2	77.5

* 対象は、2022 年 3 月卒業生であり、調査期間は 2022 年 11 月～2023 年 1 月であった。

* 各設問は、「①非常に活かされている」「②どちらかと言えば活かされている」「③どちらでもない」「④どちらかと言えばそう活かされていない」「⑤あまり活かされていない」の 5 件法で回答してもらった。表には、そのうち①と②の割合の合計を示している。